



決算説明会

2025年10月31日

株式会社カイノス
代表取締役社長
長津 行宏

カイノス「創立50周年記念式典」開催

開催日：2025年7月18日(金)

会 場：東京ドームホテル 天空

参加者：約200名（当社役員・従業員・OBOG）

臨床検査分野や社会に必要とされる会社としてあり続けるため
今後も独創的で高品質な製品供給を追求していく方針を共有



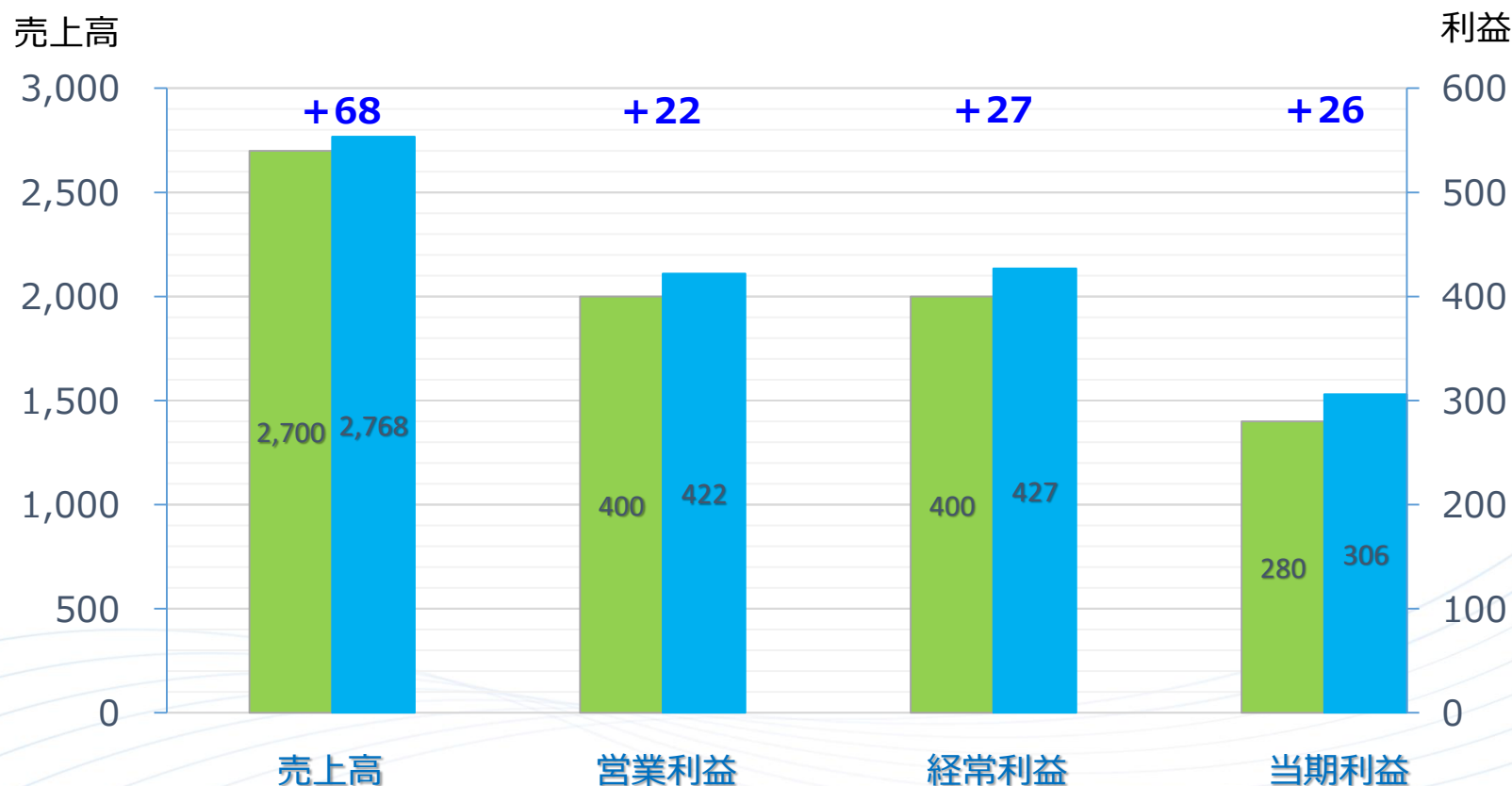
2025年度 上期決算

2025年度 上期決算

売上高及び各段階利益は開示額を達成

■ 2025年度 上期予想 ■ 2025年度 上期実績

(単位：百万円)



2025年度 上期決算 (対予想)

(単位：百万円)

		2025年度 上期予想	2025年度 上期実績	増減額	増減率 (%)
売上高	製品	2,325 (86.1%)	2,433 (87.9%)	108	4.6
	商品	375 (13.9%)	335 (12.1%)	▲40	▲10.7
	計	2,700 (100%)	2,768 (100%)	68	2.5
営業利益		400	422	22	5.5
経常利益		400	427	27	6.8
当期純利益		280	306	26	9.3

2025年度 上期決算 (対前期)

(単位：百万円)

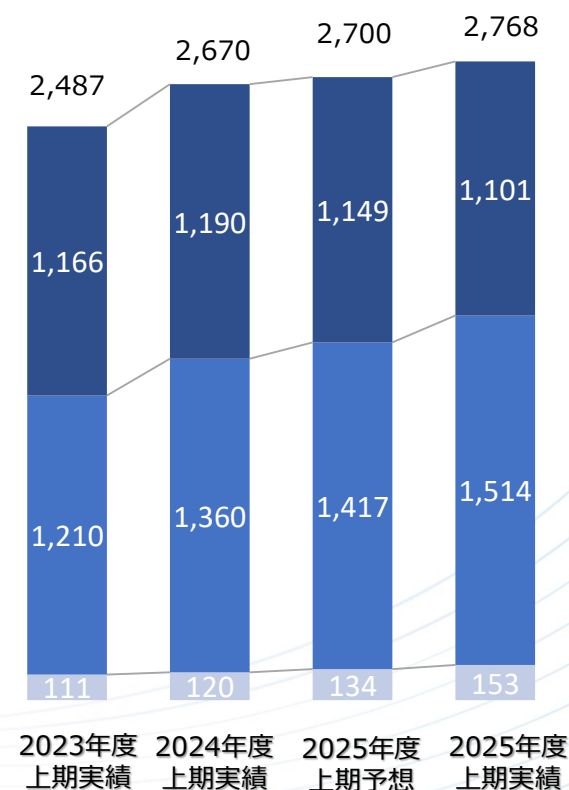
		2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	増減額	増減率 (%)
売上高	製品	2,303 (86.3%)	2,433 (87.9%)	130	5.7
	商品	367 (13.7%)	335 (12.1%)	▲32	▲8.9
	計	2,670(100%)	2,768 (100%)	98	3.7
営業利益		471	422	▲49	▲10.4
経常利益		473	427	▲46	▲9.8
当期純利益		347	306	▲41	▲12.0
当期純利益率		13.0%	11.1%	—	—

売上高(全体)

(単位：百万円)

- ・ 対予想は68百万円増、対前年は98百万円増とともに達成
生化学分野が対予想・対前年ともに未達であったが、免疫分野が伸長

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	2025年度 上期予想	2025年度 上期実績	増減額 (対予想)
生化学	1,166	1,190	1,149	1,101	▲48
免 疫	1,210	1,360	1,417	1,514	97
その他	111	120	134	153	19
合 計	2,487	2,670	2,700	2,768	68

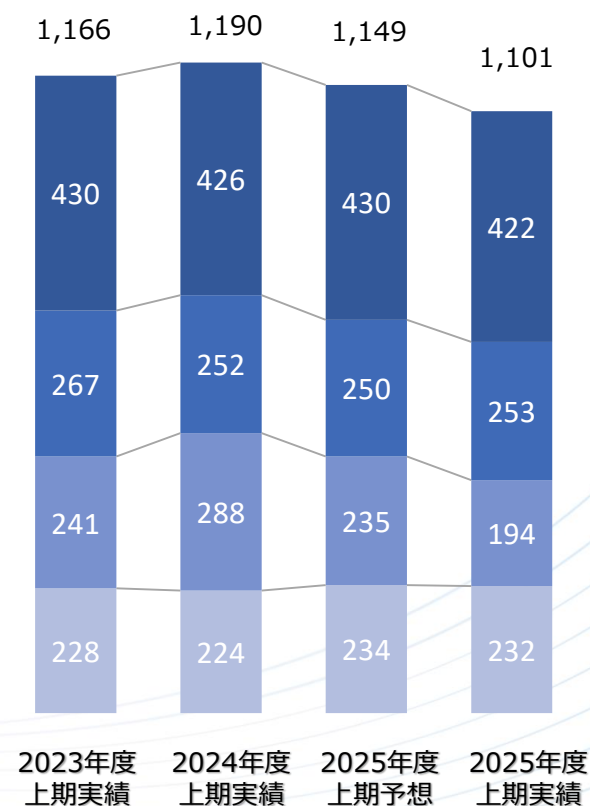


売上高(生化学)

(単位：百万円)

- ・ 対予想・対前年ともに未達
マルチキャリブレーターを活用しながら拡販を図ったが、下期への持ち越し案件発生等で目標を達成できず

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	2025年度 上期予想	2025年度 上期実績	増減額 (対予想)
腎機能	430	426	430	422	▲8
肝機能	267	252	250	253	3
糖尿病	241	288	235	194	▲41
その他	228	224	234	232	▲2
合 計	1,166	1,190	1,149	1,101	▲48

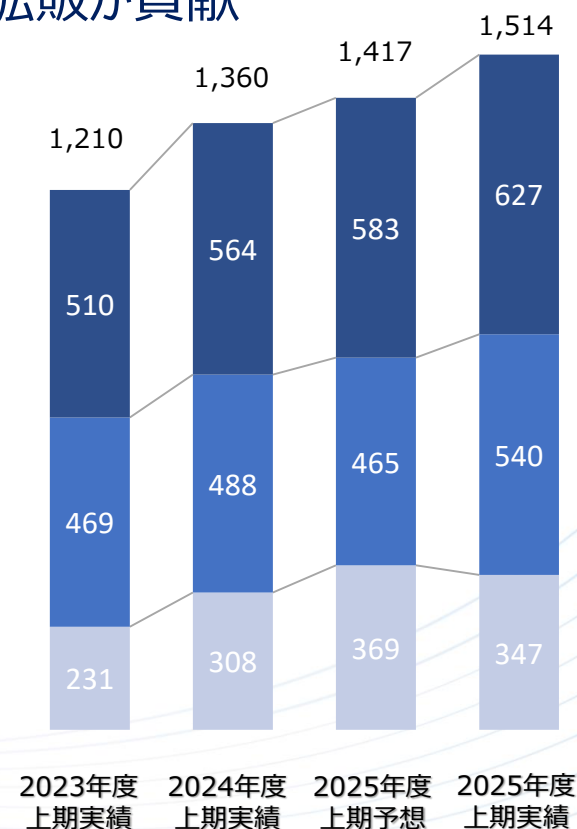


売上高(免疫)

(単位：百万円)

- ・ 輸血 ： 対予想・対前年ともに達成
大学や基幹施設での機器の新規設置需要の取り込みに成功
- ・ 腫瘍マーカー ： 対予想・対前年ともに達成
- ・ その他：プロカルシトニン(PCT)、フェリチン(FER)拡販が貢献

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	2025年度 上期予想	2025年度 上期実績	増減額 (対予想)
輸血 (除機器)	510	564	583	627	44
腫瘍 マーカー	469	488	465	540	75
その他	231	308	369	347	▲22
合 計	1,210	1,360	1,417	1,514	97



2025年度の目標と取り組み

- 2025年度上期の結果を踏まえて -
 1. 営業・学術活動
 2. 新製品開発
 3. 効率化・コスト削減
 4. 法令等対応

営業・学術活動

営業・学術活動

1) 生化学試薬の拡販

- ・クレアチニン(CRE)のトップシェアの奪取 シェア：16.7%(24年度) ⇒ 18.0%
- ・マルチ9項目のシェアアップ 目標売上：11.7億円(24年度) ⇒ 12.5億円
上期：6.0億円、下期：6.5億円予想

【活動】

- * リキッドキャリブレーターとマルチ9の選択提案
- * 機器メーカーとの協業提案、他メーカーとの協調及び導出拡大
⇒ **日立ハイテックとの機器試薬のセット販売を提携**
12月からマルチ7項目LST専用試薬導出開始
- * 技術員の増員とスキルアップによる体制と対応の強化

営業・学術活動

2) PCTの拡販

- ・垂直拡販でシェア 5 %へ 目標売上：1億円(24年度) ⇒ 2億円
上期：0.8億円、下期：1.2億円予想
シェア：5%見込み

【活動】

- * 大学病院との共同研究及び学会発表、文献投稿の継続推進
- * 専用機からの切替、マルチ9項目採用への相乗効果の推進
- * 機器メーカーとの協調強化
⇒他メーカーとの協業、導出を推進

営業・学術活動

3) 輸血分野での拡販

- ・新規と更新需要の獲得でシェア20% 目標：17%(24年度) ⇒ 20%

【活動】

- * 機器の優位性を生かした新規及び更新プロモーション
 - ⇒**防衛省からの委託役務を受注**
 - ⇒輸血治療学会 機器展示、ユーザー会実施（5月、札幌市）
 - ⇒JACLaS EXPO 機器展示、ランチョンセミナー実施（10/3-5、横浜市）
- * 機器見学の推進、Webセミナーの継続開催
 - ⇒機器見学 5施設。Webセミナー 5回（登録者数 4,647名）
- * 精度管理調査の継続実施⇒11月実施予定
- * メンテナンスプランの充実、アフターフォロー体制の更なる強化

営業・学術活動

3) 輸血分野での拡販

- ・**防衛省・自衛隊の戦傷医療における輸血に関する有識者検討会**
 - 国家防衛戦略等に定められた血液製剤を自律的に確保・備蓄する態勢の構築を着実に実現するための検討会

目的：「戦場で失われる命を一人でも減らすための迅速・安全・自律的な輸血体制」の確立

対象：自己申告制(血液型)である全国のO型の自衛隊員

期間：2025年10月～2028年3月までの2年半

検査内容：血液型・不規則抗体・抗体価測定

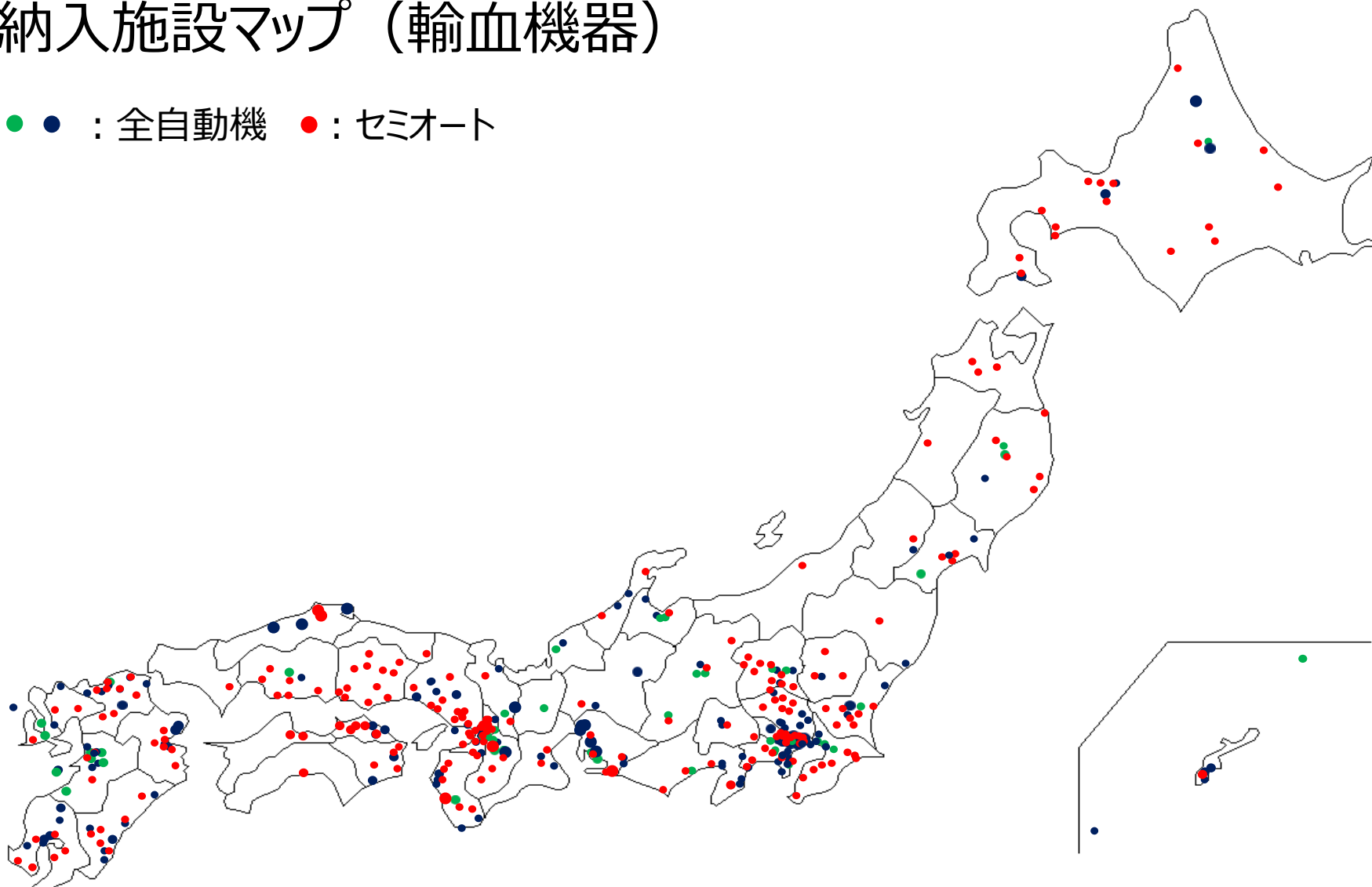
検査数：約75,000人

受託先：エスアールエル

Erytra Eflexis5台設置
2025年10月より検査開始

納入施設マップ（輸血機器）

● ● : 全自動機 ● : セミオート



新製品開発

新製品開発

2025年度 継続・新規取り組み

(1) HISCL試薬の項目拡充

シスメックスとの協業、複数項目を継続開発中

上市見込み	測定項目
10-12月	ホルモン2項目
2026年3月	腫瘍マーカー

(2) 他社との協業拡大

カynos試薬（生化学・免疫分野）の他社導出

(3) アカデミアとの共同研究

共同研究の推進

国立大学と自己免疫疾患の新規検査項目で共同研究開始

効率化・コスト削減

効率化・コスト削減

用手法充填作業の自動化（笠間工場）

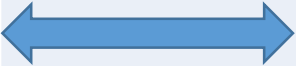
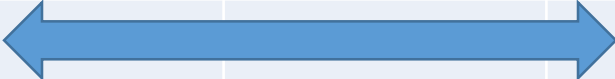
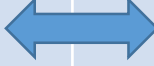
自動充填巻き締め機 の導入目的・仕様・効果

- ・機械化促進、小量容器・少数品番自動化、増産体制の構築
- ・品質安定化、現行機のバックアップ、生産効率アップ、原価低減
- ・投資額 ： 1億 4千万円
- ・設置見込 ： 2026年 3月
- ・進 捗 ： 計画通り進行中
- *FY2025 ： 設計、組立、受け入れ前試験、設置、バリデーション

効率化・コスト削減

用手法充填作業の自動化（笠間工場）

スケジュール

	FY2024		FY2025	
	上期	下期	上期	下期
業者選定				
仕様確定				
設計・組み立て				
試運転				
設置				
バリデーション				
稼働開始				

法令等への対応

法令等への対応

1) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 PBR改善に向けた取り組みの継続

- (1) ROE向上：収益性改善（純利益及び売上高純利益率の向上）
- (2) 株主還元強化：業績等に応じた安定的かつ継続的な配当水準向上
- (3) IR活動の強化：新製品開発等の事業活動の開示、決算説明会開催
- (4) 設備投資・資金計画：製造設備等への投資継続、預金・借入見直し

2) サステナビリティ・人的資本投資への取り組み 重要課題に紐付く 当社事業と連動した重要指標(KPI)

- (1) 社会的に有用な製品・サービスの開発：プロカルシトニンのシェア拡大
- (2) 働きやすい職場づくり：柔軟な働き方を実現するための措置の制度化
- (3) 環境保全活動の推進：SBTi認定取得に向けた準備継続
- (4) ガバナンス 他（企業倫理の徹底と社内体制整備）：コンプライアンス教育研修、人権デューデリジェンスの実施

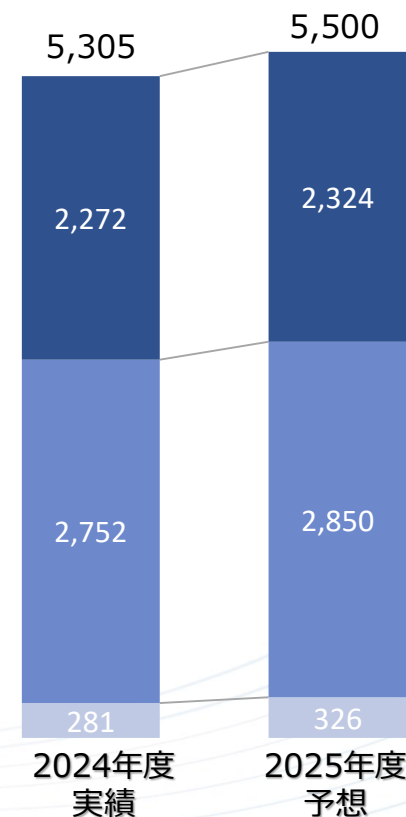
2025年度 予想

売上高(全体)

(単位：百万円)

- ・ CREをはじめマルチ9項目中心に生化学項目の更なるシェアアップ
- ・ PCTの売上を倍増
- ・ 輸血機器の更なるシェア拡大及び更新の推進

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減額
生化学	2,272	2,324	52
免 疫	2,752	2,850	98
その他	281	326	45
合 計	5,305	5,500	195

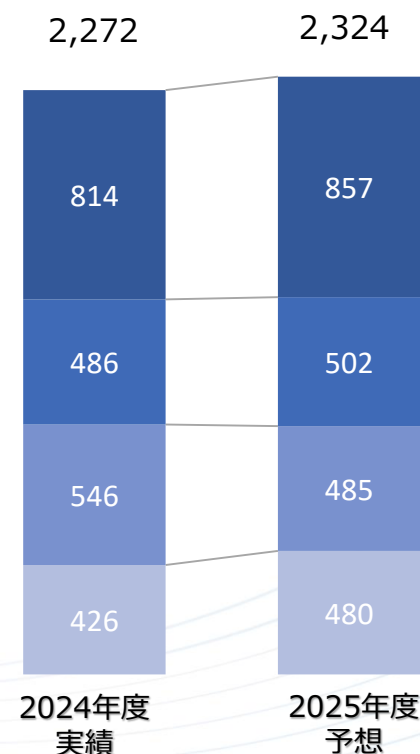


売上高(生化学)

(単位：百万円)

- ・ CREトップシェア獲得及び日立ハイテクとの提携によるマルチ項目の売上拡大
- ・ 機器信頼性No1メーカーの専用試薬を全面に拡販推進

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減額
腎機能	814	857	43
肝機能	486	502	16
糖尿病	546	485	▲61
その他	426	480	54
合 計	2,272	2,324	52

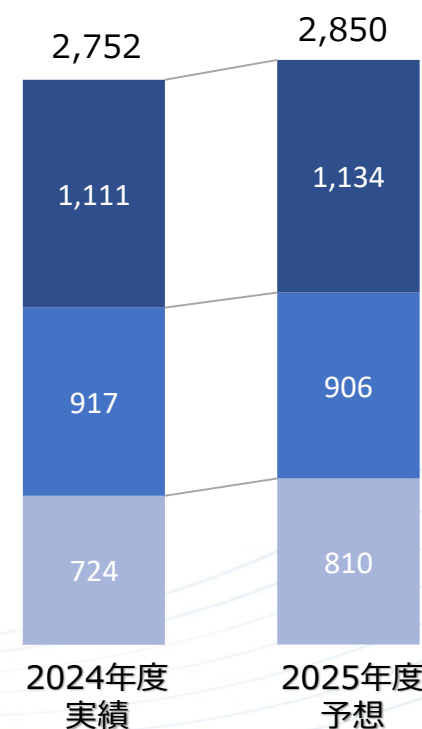


売上高(免疫)

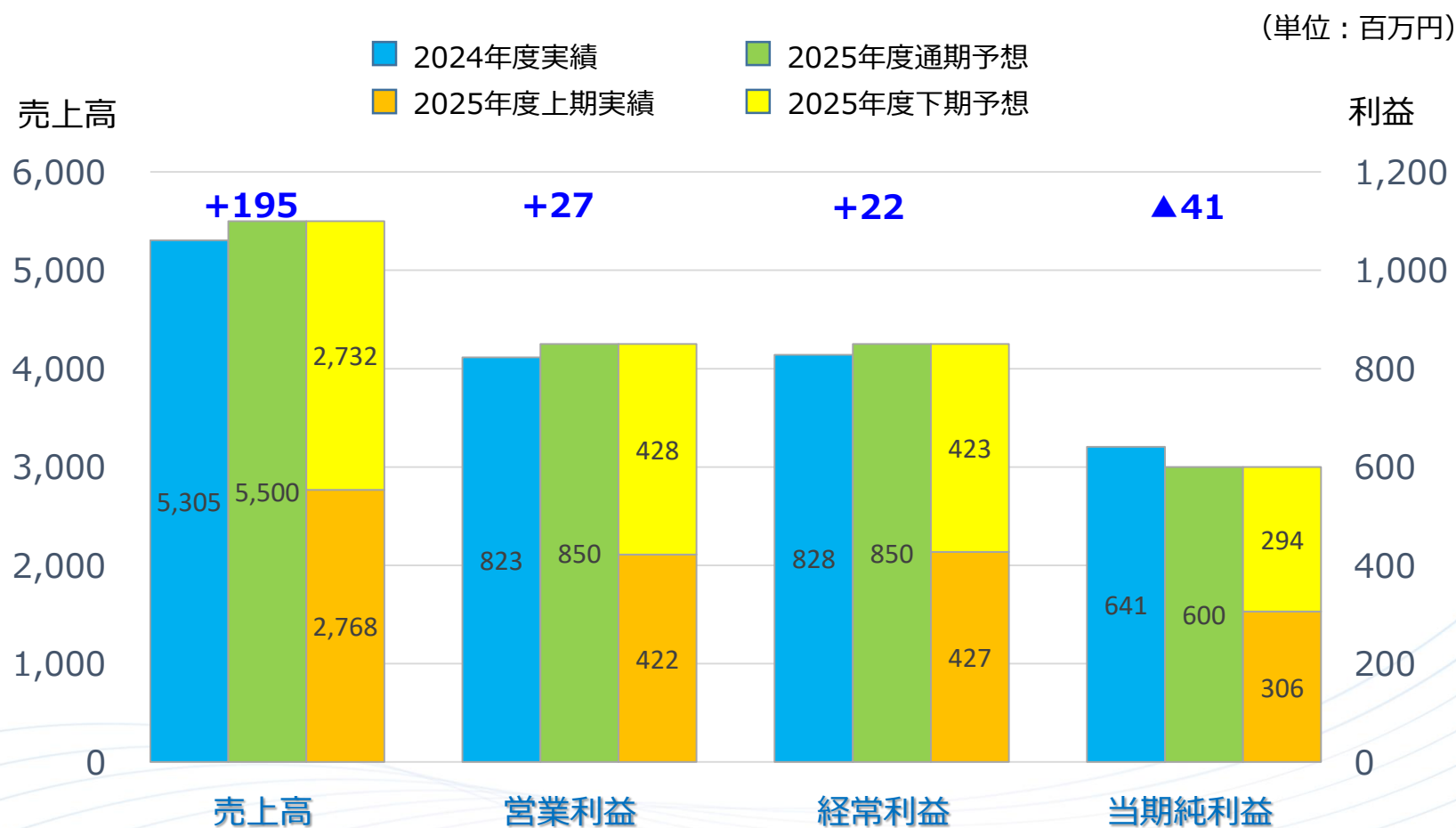
(単位：百万円)

- ・ PCTのシェアを5%へ拡大（他メーカーとの協業によりシェアアップ）
- ・ 輸血自動機のシェア20%獲得
（防衛省への継続した貢献、基幹施設への運用改善提案、推進）
- ・ 10月より海外向け製品の価格改定（FGF23等）

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減額
輸血 (除機器)	1,111	1,134	23
腫瘍 マーカー	917	906	▲11
その他	724	810	86
合 計	2,752	2,850	98



2025年度 通期予想



2025年度 通期業績予想

(単位：百万円)

		2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	増減額	増減率 (%)
売上高	製品	4,551 (85.8%)	4,780 (86.9%)	229	5.0
	商品	754 (14.2%)	720 (13.1%)	▲34	▲4.5
	計	5,305 (100%)	5,500 (100%)	195	3.7
営業利益		823	850	27	3.2
経常利益		828	850	22	2.6
当期純利益		641	600	▲41	▲6.4

中期的展望

1. 中期的展望の進捗

(期首展望)

以下を通して 今後の持続的な成長を実現する

1. 新製品開発

- 1) 自社技術と他社技術の融合
 - ・国内企業とのアライアンス強化
 - ・海外技術の積極的な活用（日本のユーザーニーズにカスタマイズ）
- 2) 新規展開分野
 - ・遺伝子項目, 感染症項目
 - ・生化学汎用機器用ラテックス試薬（プロカルシトニン：3年後シェア 10%, ラテックス試薬売上計 10億円／年）
 - ・既存試薬の継続的な改良：優位性のある試薬への改良で新規開拓

2. 海外展開

- 1) 当社独自技術・オンリーワン製品の展開（カルニチン等）の他, 他社との協業も活用

3. 人材

- 1) 継続して人材確保に注力：成長に合わせた適材適所の人材計画
- 2) 社員全体の能力とスキルの底上げ：育成投資, IT・DX・AIを活用した効率化

(現在までの進捗)

具体的取組みを次期中期計画に反映

1. 新製品開発

- 1) 自社技術と他社技術の融合
 - ・共同開発による試薬ラインナップの順次拡充
 - ・海外メーカーと協議開始
- 2) 新規展開分野
 - ・感染症項目の新規開発
 - ・アカデミアとの共同研究を推進
 - ・生化学:製品改良/他社との販売提携
 - ・PCT:散乱光測定試薬の開発/他社との販売提携
 - ・輸血:検査機器とLISをつなぐミドルウェアの開発/防衛省全血輸血プロジェクトへの参画

2. 海外展開

- 1) 独自技術・オンリーワン製品の展開、他社協業
海外市場の調査開始

3. 人材

- 1) 人材強化
 - 26年新卒：採用計画どおり完了
 - 中途採用：DMR・学術人材の採用強化
- 2) 社員全体の能力とスキルの底上げ：
管理職未満を対象にした研修実施

2. 中期計画の概要

中期計画 方針

次の50年も独創的な臨床検査試薬を提供し続け、安定的・持続的な成長を実現しうる事業基盤を確立する

分野別 計画

✓新製品開発

- ・協業先拡大
- ・画期的検査薬のテーマ化・計画的上市
- ・大学等との共同研究

✓販売

- ・生化学：CREなどマルチ9項目の販売継続
- ・免疫：PCT拡販・シェア拡大、輸血保守業務の採算改善
- ・海外販路の開拓

✓生産

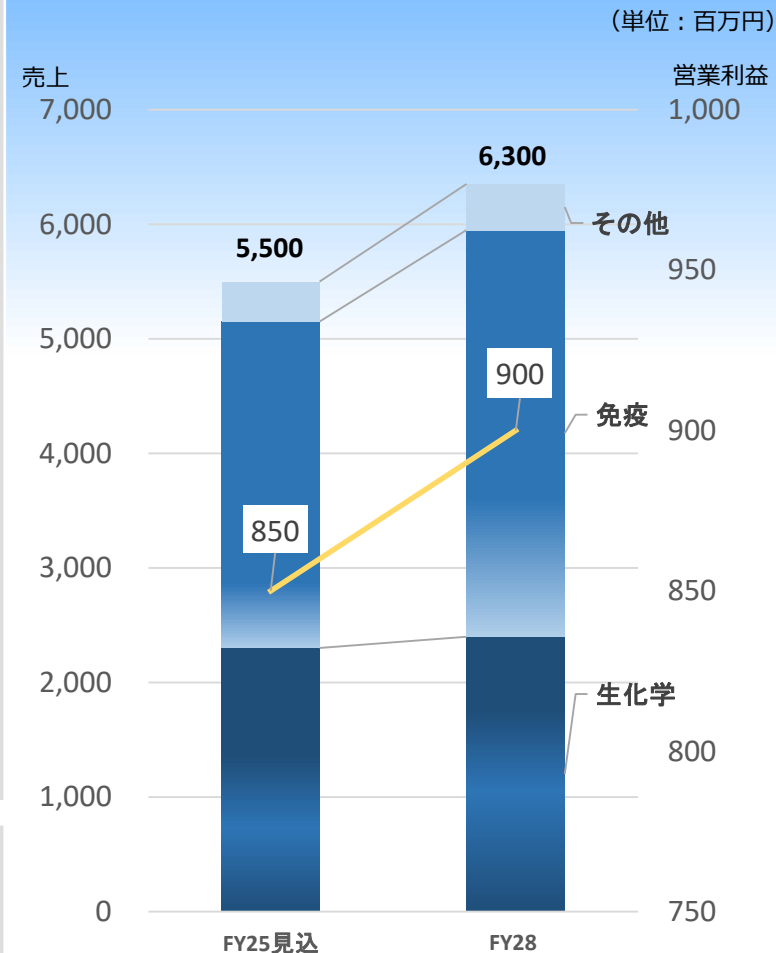
- ・生産管理システム(KPS)更新、充填機導入による効率的生産体制の構築

✓組織体制

- ・継続した技術承継・リソースの増強による研究開発の強化
- ・会計システム更新

売上・収益 計画

・FY28：
売上63億、営業利益9億



新製品上市予定

時期	疾患/項目	検査分野	開発形態	区分
2025年度	内分泌	免疫	協業	新規
	内分泌	免疫	協業	新規
	腫瘍マーカー	免疫	協業	新規
2026年度	凝固・線溶	免疫	協業	新規
	敗血症	免疫	自社	新規
	肝機能	生化学	自社	改良
2027年度	感染症	免疫	協業	改良
	腎機能	生化学	自社	改良
	糖尿病	生化学	自社	改良
2028年度	内分泌	免疫	協業	新規
	炎症マーカー	免疫	協業	改良
2029年度	アレルギー	免疫	協業	新規
	自己免疫	免疫	共同研究	新規

Creative Power & Innovation
Creative Power & Innovation

KAINOS
KAINOS LABORATORIES, INC.

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性を保証するものではありません。本資料に記載されている業績予想等については、現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としており、今後様々な要因の影響から、本資料の予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

本資料は投資勧誘や宣伝広告を目的としたものではなく、当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても一切責任を負いかねます。